

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日		化学療法委員会承認年月	平成 26 年 9 月
登録診療科	消化器内科・外科		申請医師		
レジメン名	DCF(アプレビタントカプセル)				
疾患名	食道がん		適応の備考		
適応分類					
1コース日数	21	日間	総コース数	コース	催吐性リスク day1:高度、day2-5:軽度
抗がん剤投与量・投与日 ドセタキセル70mg/m ² day1、シスプラチン70mg/m ² day1、5-FU700mg/m ² day1-5					
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)					

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	側管1	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●																				
	点滴静注	KCL注キット(1mEq/mL) 硫酸Mg補正液	20 mL / body 8 mL / body	1 時間	●																				
2	側管1	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●																				
	点滴静注	フロセミド注 20mg	1 A / body	1 時間	●																				
3	側管1	ハロセトロン注ハッグ0.75mg	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1 本 / body 2 本 / body	30 分	●																				
4	側管1	生食50mL	1 本 / body	30 分		●	●	●	●																
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●	●	●	●																
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body	60 分	●																				
	点滴静注	ドセタキセル	70 mg / m ²	60 分	●																				
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	70 mg / m ²	2 時間	●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する																									
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body	12 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注	5-FU	350 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●																
8	側管2	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																		
9	主ルート	生食500mL	1 本 / body	12 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注	5-FU	350 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●																
10	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分					●																
	点滴静注			5 分					●																
	なし	アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																				
経口投与 分1 医師の指示通り																									
	なし	アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																		
経口投与 分1 医師の指示通り																									

【投与上の注意】

アプレビタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。